

#### 4. 観光

	タイトル	意見等
1	観光立県 とくしまの推進	○ 後藤田正純徳島県知事は「大阪・関西万国博覧会」を契機とした観光振興の施策の取り組みの一環で、Web上での徳島県独自の「徳島県インターネット博覧会」を開催して、人の流れや物の流れを徳島県に呼び込まなければならない。
2	観光立県 とくしまについて	○ 後藤田正純徳島県知事は「大阪・関西万国博覧会」の開幕を契機とした観光振興の施策の取り組みの一環で、「人間ドッグ健康診断検査」＋「クアハウス(多目的温泉保養施設)」＋「阿波踊り会館での阿波踊り体験」の組み合わせによる「メディカル・ヘルス・ツーリズム」を推進しなければならない。 ※ 徳島県は「生命輝く 世界の桃源郷 とくしま」、「生命輝く 世界の理想郷 とくしま」である。
3	クルーズ船寄港地の対応について	先日クルーズ船で訪れたアメリカ人のご夫妻を鳴門市にご案内しましたが、小松島港でのクルーズ船乗客への対応についてクレームをおっしゃっていました。私は小松島港までの送り迎えが難しく、ご夫妻とは徳島駅で待ち合わせることにしたのですが、ご夫妻は当初の予定のタクシーではなく、車で、しかも15分遅れて到着し、特に奥様のほうは少し機嫌が悪く、どうしたのかと思って尋ねてみると以下のことをおっしゃっていました。 ・他のすべての寄港地には観光案内所があって英語で対応してくれる人が必ずいたのに、小松島港には英語で案内のできる人が1人もいなかった。 ・タクシーを捕まえようとしたが1台しか止まっておらず、そのタクシーに配車を頼んだら30分かかると言われた。 ・南小松島駅までのシャトルバスの本数が少なく、シャトルバスになかなか乗れなかった。その上、南小松島駅から徳島駅までの汽車の本数も少ないので待ち合わせ時間に間に合わなくなった。 徳島県としては小松島港をクルーズ船の寄港地にして、もっと多くの外国人の方に徳島県を知ってもらおうとしているのだと思います。クルーズ船が寄港する日はあらかじめわかっているはずなので、シャトルバスの本数をもっと増やしたり、待っているタクシーの数を増やしたり、英語の案内ができる人材を必ず待機させたりして対応するべきではないのでしょうか。有償ボランティアで英語を話せる人材を募っているようですが、私の考えでは時給が安すぎます。クルーズ船で来られる外国人の方は寄港地で様々な体験をしたいと考えておられて、寄港地にはそれなりの経済効果をもたらすと思います。それが小松島港ではクルーズ船の乗客が到着した瞬間に時間をロスし、移動に不便を感じるようではその経済効果を徳島県が放棄していると思えません。小松島港に寄港したクルーズ船の乗客の方がスムーズに観光できるように改善をお願いします。
4	亀浦観光港の再整備とクルーズ船誘致	瀬戸内海の入り口であり県下最大級の観光地・鳴門。現在は観潮船の母港であり県HPでは釣リスポットとして紹介されていますが誠に勿体ないです。瀬戸内海には国内クルーズ船のガンツウや海外の大型クルーズ船も通過しておりますが、一方で大塚国際美術館等を有する鳴門エリアは今や世界の観光客も注目するスポットで県下最大の観光地です。また鳴門からウチノ海の景観は、小瀬戸と表現しても良いくらい阿波のエーゲ海、しまなみ海道や備讃瀬戸に決して負けない多島美の景勝地です。あまり県はアピールしていませんがまぎれもなく鳴門は気候や風土共に瀬戸内海の一部。そして国内外的にも、ここ数年で一大観光地となった淡路島への玄関口でもあります。阿波踊り時期に偏りがちなクルーズ船誘致を徳島小松島港で無く鳴門亀浦観光港も選択肢の一つとして再整備する事で通年化します。合わせて海の駅指定や観潮船や渡船への御船印発給支援(淡路側では実施済)、海技教育機構の帆船寄港誘致(高松では盛んですし近隣の神戸が母港)、大鳴門橋のライトアップの通年化、全国的に人気の民間水族館誘致やドルフィンセンター誘致等も県立ウチノ海公園での実施も含めた総合的な魅力アップをお願いいたします。
5	観光立県 とくしまについて	○ 後藤田正純徳島県知事は「大阪・関西万国博覧会」の開幕を契機とした農業体験＋農家民宿とを組み合わせた「アグリ・ツーリズム」の観光振興の施策の取り組みを通じて、人の流れを徳島県に呼び込まなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は「大阪・関西万国博覧会」の開幕を契機とした漁業体験＋漁家民宿とを組み合わせた「ブルー・ツーリズム」の観光振興の施策の取り組みを通じて、人の流れを徳島県に呼び込まなければならない。 ※ 千葉県御宿町や三重県鳥羽市の「ブルー・ツーリズム」の取り組みの事例
6	自動車王国とくしまビルドアップ事業	○ 後藤田正純徳島県知事は、県内各地に「自転車の道の駅」の構築並びに「サイクル・ステーション」の構築を行って、「サイクル・ツーリズム」の推進をしなければならない。
7	テーマ別観光コンテンツ	1. メディカル・ヘルス・ツーリズム(人間ドッグ健康検査診断＋クアハウス＋阿波おどり) 2. アグリ・ツーリズム並びにブルー・ツーリズム 3. スポーツ・ツーリズム(徳島ヴォルティス・徳島ガンバローズ) 4. アート・ツーリズム(大塚国際美術館での世界の名画鑑賞・徳島国際芸術祭の開催) 5. ネイチャー・ツーリズム(鳴門海峡でのシーカヤック・吉野川でのラフティング) 6. アニメ・ツーリズム(とくしま★マチ★アソビ・アニメのNARUTO-ナルト- ) 7. シネマスクリーン・ツーリズム(眉山・パルトの楽園・鳴門秘帖・人生いろいろ・虹をつかむ男・祖谷物語-おくのひと-・徳島国際映画祭の開催) 8. フード・ツーリズム(とくしまマルシェ)

#### 4. 観光

	タイトル	意見等
8	香港特別行政区経済ミッションにおける徳島県民への土産	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島市内に「徳島ラーメン博物館」を開館して、徳島における「食のテーマパーク」を創出しなければならない。</li> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は「阿波おどり会館」を「阿波おどり博物館」へと刷新して、「おどりのテーマパーク」にしなければならない。</li> </ul>
9	観光振興に関する意見	<p>○後藤田正純徳島県知事は、「メディカル・ヘルス・ツーリズム」、「アグリ・ツーリズム」、「ブルー・ツーリズム」、「スポーツ・ツーリズム」、「アート・ツーリズム」、「サイクル・ツーリズム」、「シネマスクリーン・ツーリズム」、「ネチャー・ツーリズム」、「エコ・ツーリズム」、「グルメ・ツーリズム」、「アニメ・ツーリズム」などのバラエティに富んだツーリズムの観光振興の施策を実施しなければならない。</p>
10	～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波踊り～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島・国際化元年並びに大阪・関西万国博覧会の開幕を機会に、徳島の阿波踊りが「リオデジャネイロのサンバ踊り」、「スペインのカルメン踊り」、「ハワイのブルーハワイ・フラダンス」、「インドネシアのバリ島のケチャツクダンス」など踊りの輪の絆を結ばなければならない。</li> <li>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島市で「世界阿波おどりサミット」を開催しなければならない。</li> </ul> <p>※ 東京オリンピック1964(昭和39年)では、徳島の阿波踊りが東京オリンピックのアトラクションで阿波踊りの演舞が披露されて、徳島の阿波踊りが踊りの輪で世界の人々の心を繋いだ。(四国放送テレビの「おはよう とくしま」の映像に保存されている)</p>